

平泉の魅力为全国へ発信 町とJAFが連携協定を締結

4月16日、当町と日本自動車連盟(JAF)は観光振興に向けた取り組みを推進するため、「観光振興に係る連携協定」を締結しました。

今回の締結により、JAFのインターネット総合観光サイト「JAFナビ」に平泉町の紹介コーナーが開設され、観光スポットやイベント情報など、平泉の魅力が全国に発信されます。また観光振興と併せて、ドライバーに安全運転や事故防止について呼び掛けるなど、交通安全活動にも取り組んでいきます。



新入学児童の交通安全に 交通安全母の会が黄色い帽子を贈呈

3月28日、町交通安全母の会連合会(千葉千代子会長)が交通安全活動の一環として、新入学児童用の交通安全用品を町教育委員会に贈りました。

岩淵教育長の下を訪れた千葉会長(写真右)らは「新1年生が安全に登下校できるように、子どもたちの交通安全に役立ててください」と話し、平泉小学校新入学児童37人と長島小学校新入学児童14人分の黄色い帽子と蛍光素材のランドセルカバーを手渡しました。



千葉さんに消防庁長官表彰 地域消防の発展に功労

町消防団副団長の千葉芳信さん(11区)が消防功労者として、平成29年度消防功労者消防庁長官表彰(永年勤続功労章)を受章しました。千葉さんは、昭和56年4月に町消防団員を拝命以来、平成27年10月に本部長、28年4月からは副団長として、消防業務に尽力されてきました。

4月18日に青木町長に受章を報告した千葉さんは、「多くの人たちの支えがあり受章できた。引き続き地域住民の安心安全を守るために消防活動に精進していきたい」と話していました。

火遊びなどは絶対にしません 長島少年消防クラブに1年生14人が入団

4月19日、長島小学校の全校児童84人で組織する長島少年消防クラブの平成30年度入団式が行われ、新たに仲間入りした1年生14人が火災予防の取り組みへ決意を新たにしました。新入団員の呼名では1年生団員が元気に返事をし、新入団員を代表して佐々木未虹さんが、クラブ手帳とバッジを佐々木淳悦一関西消防署副署長から交付されました。

その後全クラブ員で「火災をなくす誓い」を力強く唱和し、火災のない住みよい地域を目指すことを誓いました。



新1年生希望を胸に 町内小中学校で入学式

平泉中学校の入学式が4月6日、平泉小学校と長島小学校が9日に行われ、新学期がスタートしました。

このうち平泉小学校では、新1年生37人が真新しいランドセルを背負い初登校。緊張した面持ちで入学式に臨んだ子どもたちは、自分の名前が呼ばれると大きく元気な声で返事をしていました。2年生による歓迎セレモニーが披露されると、新1年生はこれから始まる学校生活に胸を躍らせるように目を輝かせていました。

登下校時の児童を見守る スクールガードに委嘱状交付

町教育委員会は4月4日、登下校時の児童の見守り、危険物や危険箇所の確認などの活動に取り組む学校安全ボランティア「スクールガード」46人に委嘱状を交付しました。

スクールガードは、安全で安心な学校環境を目指し委嘱しているもので、児童の登下校時に街頭に立ち、温かく見守りながら、児童の心に安心を与えています。事業を開始して以来、町内で児童が巻き込まれる大きな事件・事故は発生しておらず、スクールガードによる成果が上がっています。



桜情景復活に向けて桜の苗木を植樹 西行桜の森まつり植樹会

4月21日、西行桜の森を会場に、西行桜の森まつり植樹会(東稲山さくらの会主催)が開催されました。

まつりには地域住民や長島小学校児童など約180人が参加。東稲山の桜情景復活に向けて、大文字キャンプ場北側の約30㍍に25本のエドヒガンを植えました。

西行桜の森がある一帯は、国名勝「おくのほそ道風景地」に「さくら山」として追加指定されており、町や関係団体では計画的に桜の植樹に取り組んでいます。



お釈迦様の誕生日を祝う 中尊寺花まつり

中尊寺主催の花まつりが4月15日、町内や平泉文化遺産センターで開催されました。花まつりは4月8日のお釈迦様の誕生日を祝うもので、お釈迦様の生まれ変わりである白い象に、甘茶をかけて祝う行事です。

当日は、白い象の模型が町内を練り歩いたほか、平泉文化遺産センターを会場に観劇やゲーム、塗り絵など楽しいイベントが行われ、多くの親子連れなどが楽しい時間を過ごしていました。